

2024 年度 事業計画書

自 2024 年 4 月 1 日

至 2025 年 3 月 31 日

公益財団法人 鉄道弘済会

基本方針

2024年度の事業計画においては、「弘済（広く救う）」という設立の理念のもとに策定された中期経営計画（5箇年）の2年目として、各箇所状況に応じて中期経営計画の内容を具体化するほか、利用者一人ひとりに寄り添った福祉の充実を図るため、人材の確保・育成・定着などに取り組んでいきます。

公益事業については、利用者の「より良い」姿を思い描きながら、日々の業務を通じて社会・地域のニーズや国の動向を捉え、今後も持続的に信頼される質の高い福祉サービスの提供に取り組んでいきます。

また、収益事業については、麴町弘済ビルディングの入居者獲得に注力していくほか、所有物件の有効活用と新規開発を推進するとともに、資産価値の維持に努め、安定的な財源確保に取り組んでいきます。

さらに法人運営については、働きやすい職場づくりを推進し、今後も持続的・発展的に事業を運営するため、本部・支部・各箇所が一体となって意見交換を継続的に実施していくほか、時代にあった制度やシステム基盤の整備などに取り組んでいきます。

1 公益目的事業

公1 障害者の自立・更生、児童又は青少年の健全な育成及び社会福祉に関する知識・技術の向上に係る福祉支援事業

(1) 障害者に係る福祉支援事業

① 補装具製作及び更生相談に応ずる施設並びに診療所の設置・運営【義肢装具サポートセンター】

利用者のニーズに応えることができる人材を育成するとともに、切断障害者の早期社会復帰と自立促進のための必要な訓練を行い、製作技術の向上や診療部門の充実を目指します。

また、切断障害者等の「生活の質の向上」のため、新技術の導入や研究開発に取り組むとともに、障害者スポーツへの支援や地域社会に貢献することで、安定的で持続的な事業運営を目指します。

② 身体障害者福祉の増進に寄与するための事業【(福) 鉄道身障者福祉協会への支援】

社会福祉法人鉄道身障者福祉協会の福祉活動を支援します。

③ 知的障害・自閉症児者施設の設置・運営【総合福祉センター弘済学園】

知的障害・自閉症児者を対象として、児童期を中軸に、ライフステージに沿った一貫した療育・支援を行う総合的な施設として、児童期の発達支援と青年期の自立支援に努めます。

目指すべき療育・支援の基本的考え方のもと、児童期中心の入所施設部門と幼児期・青年期も含めた地域生活支援部門を両軸に、多様なニーズに対応した取り組みを進めます。

また、目指すべき将来像と老朽化した建物の施設整備基本計画をあわせた「将来構想」を策定します。

利用者の円満な人格形成と能力内自立を目指して療育・支援に取り組み、人権擁護を徹底します。

これらの事業に必要な人材の確保・育成に努めます。

④ 知的障害者福祉の増進に寄与するための事業

ライフステージ悠トピア・くず葉学園との連携に取り組めます。

⑤ 視覚障害者福祉に携わる者の顕彰

録音図書の新なる普及とボランティア活動の啓発を図るため、顕彰行事「朗読録音奉仕者感謝の集い」を引き続き実施します。

⑥ 視覚障害者福祉の増進に寄与するための事業

社会福祉法人日本視覚障害者団体連合、社会福祉法人日本点字図書館の福祉活動を支援します。

(2) 児童又は青少年の健全な育成に係る福祉支援事業

① 子育て家庭の支援事業【保育所・認定こども園】

保育の質を向上するために子どもの主体性を尊重する保育の充実や語り合う職場風土の醸成に取り組みます。

地域において多様化するニーズを把握し、子育て支援事業等を実施することで、地域と共生する園づくりを目指すとともに、各園における保育方針・目標・特色を踏まえ、持続的・発展的に園を担うことができる人づくりに努めます。

② 児童養護施設の設置・運営【札幌南藻園】

家庭的養育の充実を図るため、若手職員の育成と定着、リーダー層の資質の向上と役割の明確化及び組織の体系化を進めます。

自立支援に向けたリービングケア・アフターケアの充実・強化を推進します。

本体施設に配置された多職種の専門職員を活用するとともに、「なんそうえん子ども家庭支援センター」による地域支援の充実を図り、更なる高機能化・多機能化を進めます。

(3) 社会福祉に関する知識・技術の向上に係る福祉支援事業

① 「社会福祉セミナー」の企画・開催

社会福祉の潮流を踏まえ、実践と研究の両面から社会福祉に関する知識、技術の向上を図ることを目的に「社会福祉セミナー」を年1回開催し、社会福祉の発展の寄与に努めます。

② 研究誌『社会福祉研究』の企画・発行

社会福祉に関する実践と研究をつなぐ専門誌として『社会福祉研究』を継続して発行し、得られた研究成果が広く社会福祉に活用されるよう努めます。

③ 福祉資料室の運営

福祉資料室は、社会福祉の専門的な情報センターとして、福祉分野の図書等を蔵書し、広く学生、研究者、一般の利用に供します。

公2 高齢による要介護者への福祉支援事業

(1) 高齢者に係る福祉支援事業

社会福祉法人東京弘済園が運営する各種高齢者福祉事業について連携を図り、介護の質の向上と安定的な経営基盤の確立のために必要な支援を行うとともに、建替えを含めた中長期計画についても共同で策定していきます。

2 収益事業等

収1 不動産賃貸事業・管理業等

① 収益最大化のための開発の推進及び検討

「公益事業の一層の発展」に資するため、所有不動産の更なる有効活用を図り、「麴町弘済ビルディング」の入居者獲得に注力するとともに新規開発の更なる推進と低収益用地の新たな開発についての検討・協議を進めることにより、収益の最大化に取り組みます。

② 物件の資産価値維持及び管理体制の強化

安定収入確保のための取り組みとして、既存賃貸物件における長期空室の発生を抑えるための改修や計画的な修繕を実施します。

今後の開発計画の推進や物件管理体制の強化のため、開発・管理運営の担当者として自ら考えて実行できる人材の育成を行います。

他1 奨学金事業

社会福祉を学ぶ者の支援、児童養護施設の在園児及び退園者の支援といった視点から、引き続き奨学金事業の推進を図ります。

3 法人運営

(1) 中期経営計画を踏まえた取り組み

中期経営計画を軸とし、本法人として組織的な成長を図るため、それぞれの知見を結集して、一体となって必要な内容に取り組みます。

(2) 人材の確保・育成・定着に向けた取り組み

多様な人材を確保するため、本法人の中期経営計画等を踏まえた戦略的な採用活動や従業員のキャリアに応じた研修機会の提供、資格取得の支援等に取り組みます。また、ワークライフバランスや従業員の心身の健康に配慮した制度改正等に取り組みます。

(3) 働きやすい職場環境の整備に向けた取り組み

それぞれの業務内容を再確認し、システムを活用するなど、実態に合わせた効率化や利便性の向上に取り組めます。

(4) 安定的な財政基盤の確立に向けた取り組み

質の高い公益事業を幅広く積極的に展開するため、柔軟な予算執行体制の強化や「収益事業における安定的な収入確保」と「リスクを抑えた資産運用」を念頭に利回りの向上に努め、より安定的な財政基盤の確立に取り組めます。

また、施設改修・ICT化や制度改正などに財源を投入するとともに、設備投資計画と資金計画の精緻化にも取り組めます。

(5) 持続的・発展的な福祉の実現を支える取り組み

認知度・知名度の向上を図り、社会から信頼され、時代の要請に応えられる法人となるため、コンプライアンスの徹底や運営体制を整備等に取り組めます。また、持続的な発展を目指すため、事業継続性を高める体制の整備等に取り組めます。